



～5/9の会礼での校長の話～

新学期が始まって1か月が過ぎました。新しいクラスには慣れましたか？新しい担任の先生や友達とは仲良く生活できているでしょうか？

さて、今日は先生からこんなお話をします。そう、「あ・は・は」の「あ」のお話です。「あ・は・は」の「あ」は何だったかは、皆さんもう言えますね。

そうです「あいさつ」のことです。あいさつには「おはようございます」という朝のあいさつはもちろん、帰りの「さようなら」やお礼を言う時の「ありがとう」、謝る時の「ごめんなさい」と、いろいろなあいさつがありますね。でもまず「おはようございます」のあいさつが、みんな元気よくできるようになって欲しいと思います。

では、「何故あいさつをしっかりとできて欲しいか」についてお話しましょう。

あいさつを漢字で書くと「挨拶」となります。ちょっと難しい字ですね。この漢字の意味を調べてみると、次のような意味があるということが分かりました。

あいさつの「挨」の字は、元々は「押す」という意味、「拶」の字は「迫る」とか「近づく」という意味で「修行をするお坊さんが、師匠のお坊さんに教えを受けるために近づいていく」という意味があったようです。

今では、「挨」は「心を開く」、「拶」は「相手に近づく」という意味を持っているそうです。まとめると「挨拶」は「心を開いて相手に近づく」ということなのです。

朝、元気なあいさつを交わし合うと気分が良いですね。それはきっと、言葉だけでなく、あいさつすることで相手と心が通いあうからなのだと思います。

では、最後にどんな風にあいさつして欲しいかについて話します。

まず、一番良いのは、

◎ 相手より先にあいさつする（先取りあいさつ）、元気な声であいさつする、道の反対側、遠くの人に聞こえる声であいさつする。

これができたら花丸です。でも、自分からはなかなか言えないなという人もいるかもしれませんね。そんな人は、

○ あいさつされたら、必ず聞こえる声であいさつを返す。

これでも、まずは大丈夫です。大事なのは、相手に聞こえているかどうかです。少しずつ自分から言えるようにしていきましょう。それから、朝から大きな声であいさつするのはどうも苦手という人もいるかもしれませんね。それにいつもはできるけど、そういう気分じゃない朝もあるかもしれませんね。そんな時はこれです。

◇ あいさつされたら、相手の目を見て会釈する。

会釈ってどうするかというと、頭を軽く下げることです。あいさつされて、うまく返せない時はそんな風に会釈をしましょう。そうすれば「あなたのあいさつを受け止めましたよ」ということになりますね。今も朝、正門で元気なあいさつをしてくれる人もいますし、目が合うと頭を下げて会釈してくれる人もいますね。まずは、それで大丈夫です。

一番やってはいけないのは、

× あいさつされても、黙って通り過ぎること。

です。これは、相手を見殺ししていることです。誰でも自分がされたら悲しいと思います。自分がされて嫌なことをしてはいけません。元気なあいさつを返せなくても、声を出す気分ではなくても、黙って通り過ぎることだけはしないようにしましょう。そして、少しずつ自分のあいさつをレベルアップしていきましょう。

通学班のリーダーや高学年の人が元気にあいさつできていると、下級生のあいさつもだんだん元気にできるようになるようです。5、6年生、頑張ってくださいね。

山名小の一人一人が、今お話したやり方であいさつをしっかりと、今以上に学校中にあいさつの輪が広がっていくようにしましょう。

## 【登下校時のマスク着用について】

最高気温が20℃を超える日も増えてきました。朝から顔を赤くして登校する児童もいます。熱中症への対応から、マスク着用は、その日の天候に合わせて児童一人一人に任せていきます。マスクを着用しない場合には、前を向き、できる限り話をしないように指導していきます。